

犯罪や非行のない地域社会を目指して

第62回“社会を明るくする運動”



◀ 暑い中、たくさんの人に足を止めていただきました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で六十二回目を迎えます。

射水保護司会では、例年「海の日」を、海王丸パークで街頭宣伝活動の日としてきました。

七月十六日(月)朝から強い日差しが照りつける中、総帆展帆をはじめさまざまなイベントが開催された会場は、多くの人で賑わっていました。

「再出発を見守り支える社会に」と書かれたうちわ、黄色い羽根、「麻薬・覚せい剤・大麻シンナーの乱用をなくそう」のメッセージ入りティッシュを配布し、更生保護への理解を呼びかけました。

瀧下富山保護観察所射水担当主任官、保護司四十三名、更生保護女性会員十五名で記念撮影をして解散しました。



射水更生保護

発行・編集

射水保護司会

会長 米澤 治夫

TEL 0766-52-4321

〒934-8555

射水市本町2丁目10番30号

射水市福祉保健部 社会福祉課内

海王丸パークで街頭活動 「再出発を見守り支える社会に」

「社会を明るくする運動」の強調月間中の七月十六日(月)海の日、さまざまなイベントで賑わう射水市海王丸パークを会場に、犯罪や非行のない明るい社会と、不幸にして罪を犯した人の更生保護、薬物乱用防止などの街頭広報活動を繰り広げました。

犯罪や非行が生まれるのは、地域であり、罪を償い、更生を果たす場もまた地域にほかなりません。

犯罪や非行のない安全・安心な社会を築くには、犯罪や非行から立ち直ろうとする人たちの意欲を認め、地域の中に受け入れ、見守り、支えていくことが必要です。

第62回「社会を明るくする運動」

射水市推進委員会開催

七月の社会を明るくする運動の強調月間を前に六月二十七日(水)、射水市中央図書館を会場に、第六十二回「社会を明るくする運動」射水市推進委員会が開催されました。

射水市推進委員会委員長夏野元志市長、安藤富山保護観察所統括保護観察官、主唱者・米澤射水保護司会会長のあいさつがありました。



▲ 会議に先立ってあいさつをする夏野市長

高松射水保護司会事務局長より、第六十一回「社会を明るくする運動」実施結果報告、第六十二回「社会を明るくする運動」行動実施計画について審議し、承認されました。

法務大臣・知事メッセージ伝達

七月一日(木)

午後一時三十分、射水市小杉庁舎市長室において第六十二回「社会を明るくする運動」の始まりを告げる法務大臣及び知事メッセージの伝達が、行われました。



▲ 市長へのメッセージ伝達

五十嵐副会長、川口副会長、安田事務局次長立ち会いのものと、米澤射水保護司会長が声高らかにメッセージを読みました。



▶ 市議会議長へのメッセージ伝達

厳肅な空気の中、滞りなく終了しました。
また同日午後二時三十分から、新湊庁舎市議会議長室において、瀧田市議会議長へも、同様にメッセージ伝達が行われました。

第三十一回射水市中学生生活体験発表大会

中陳佳帆子さん(小杉中)県大会へ



小杉中学校
中陳 佳帆子さん

五月二十四日(木)、第三十一回射水市中学生生活体験発表大会が、射水市大門中学校体育館を会場として開催されました。

当日は、同校中学校生徒会の司会により進められ、米澤治夫射水保護司会会長の開会のことば、星野正義射水市中学校校長会会長の激励のことば、発表上の注意のあと、抽選により決められた順に従い、市内七校の代表が持ち時間五分間の間に、それぞれの体験の中で学び感じた事を発表しました。

審査委員長の野上克裕射水市教育委員会教育次長、副委員長の川口和香子射水保護司会副会長、審査員の熊谷正克保護司・新中孝子保護司・室谷清一保護司により、厳正な審査が行われました。



▲ 表彰を受ける中陳さん

中陳さんは、射水市代表として、第五十回富山県中学生生活体験発表大会に出場されます。

「いづれも優秀つけがたい発表でした。身近な様々な体験から得られた、嬉しいこと、悔しいこと、辛い思いを今日ここで共有できたことを嬉しく思います(以下略)」と講評、続いて審査結果の発表がありました。

県大会市代表には、「変えられるもの」と題して発表した小杉中学校(三年)の中陳佳帆子さんが選ばれました。中陳さんは、卓球部に入っていて、試合に負けてしまった時、言い訳をする癖があった。自身を持って臨んだ試合に負けた時も、「応援してくれなかったから」と、家族に当たり散らし、悔しい思いを他人にぶつけてしまった。そんな時母親の一言から、他の人を責めるより自分を变えようと思い直し、応援してくれる人に感謝する気持ちを持った。自分を変えることの大切さを知り、感謝の気持ちを持って部活に取り組み個人で北信越大会に出場した。次は団体で出場したい、と結びました。

発表者及び演題（発表順）

学校名	学年	発表者氏名	演 題
射 北	3年	寺 田 愛 奈	悔しさから学ぶこと
新湊南部	3年	泉 田 侑 香	自分の可能性を信じて
小 杉	3年	中 陳 佳帆子	変えられるもの
新湊西部	3年	元 木 晴 風	支え合い～今私ができること～
奈 古	2年	若 林 茜	これって本当に正しいこと？
小 杉 南	2年	松 谷 知 則	アイコンタクトの大切さ
大 門	2年	島 上 巧	祖父が残したもの



◀ 表彰された発表者のみなさん

富山県知事賞に中陳さん

富山県中学生生活体験発表大会第六十二回「社会を明るくする運動」第五十回富山県中学生生活発表大会が、七月七日（土）ボルファートとやまで開催されました。

県下十七の地区代表者により、熱弁が繰り広げられました。

審査委員長の講評では、部活動など身近な体験を元に自分を冷静に見つめていること、さらに周りの人々にどう役に立てるかという視点を持っていること、富山県や地域を愛する子どもがたくさんいることを嬉しく思うと話されました。

審査の結果、「変えられるもの」と題し発表した、射水市代表の中陳佳帆子さん（射水市小杉中三）が最高賞の県知事賞に輝きました。

富山県中学生生活体験発表大会



▶ 富山県知事賞 表彰状の授与

YouTube 法務省チャンネルのご案内



<http://www.youtube.com/watch?v=3LihVMdoOzQ>

心のリレー第1部
『僕は変わりたい！』
保護観察付執行猶予の判決を受けた主人公は、ようやく新聞販売所の職を得ますが…。



<http://www.youtube.com/watch?v=3LihVMdoOzQ>

立ち直りを支える地域のちから
「保護観察」と「生活環境の調整」の説明、「地域のチカラ」である保護司を始め更生保護ボランティアの声も紹介しています。



<http://www.youtube.com/watch?v=LLNlbnSESMI&feature=relmfu>

心のリレー第3部
『あなたも更生保護サポーターに！』
社会を明るくする運動、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ、広報用ビデオです。



<http://www.youtube.com/watch?v=LLNlbnSESMI&feature=relmfu>

君を待つ未来のために
何が少年を非行へと走らせたしまったのでしょうか？止めるすべはなかったのでしょうか。

インターネット動画共有サービス「YouTube」で、法務省が配信している更生保護に関するビデオがインターネットを通じて公開されています。法務省チャンネルのメインアドレスは、
http://www.youtube.com/user/mojchannel?feature=results_main によ。

公開研修会開催

平成二十四年度七月三日(火)、富山県射水市新湊交流会館において、第六十二回「社会を明るくする運動」強調月間運動として、更生保護事業公開研修会を開催しました。

犯罪や非行からの立ち直りには、地域の皆様の暖かいまなざしとご協力が欠かせません。

射水保護司会の会員以外の皆様とも、この機会に「更生保護制度」について知る機会を共有したいと研修部が企画しました。

講師に湖南学院院長田中徹氏をお招きし、「『少年院における教育と社会内処遇について』」をテーマにお話いただきました。

◆講師紹介



講師
田中 徹 院長

田中院長は、日本三大名園の一つ「後樂園」の近くの岡山県岡山市のご出身です。



◆講演内容

1. 少年院処遇の概要

- (1) 少年院のあゆみ
 - (2) 少年院の種類、処遇区分、処遇勧告、処遇課程など
 - (3) 矯正教育の方針と教育活動の実際
- #### 2. 最近のトピックス
- (1) 「少年矯正を考える有識者会議による提言」について
 - (2) 「少年法改正案」について
 - (3) 少年院長会同（保護観察所長と初の合同会議）について
- #### 3. 社会内処遇について
- (1) 平成二十三年度版「犯罪白書」から
 - (2) 「セカンドチャンス！」について
 - (3) 再非行・再犯防止のため



▲ 講演後には熱心に質問

に（少年矯正と更生保護の行動連携について）

◆まとめ

現行の少年院法は、昭和二十四年以来六十年間も改正されることなくきている。

平成九年八月の「広島少年院での暴行事件」がきっかけとなり、現在の改正案につながっている。

今後は、少年の人格を尊重しながら、少年院の透明性を確保し、再非行化を防止するための矯正教育の充実を計り、職業生活に必要な知識、態度を身につけ、資格取得に努めていく。また、自ら学ぶ力を育て、社会人としての責任を自覚させる。

また更生保護との連携は、これからの事業として捉えるべきであり積極的に関わり合っていくべきである。

講演後熱心な質問がいくつもなされ充実した講演会でありました。参加協力いただきました皆様に感謝申し上げます、ご報告いたします。

（研修部長 檜村和広）

※湖南学院について

湖南学院は非行があつて、家庭裁判所で少年院送致された少年のうち、その問題性が単純または、比較的早く早期改善の可能性が大きい少年を収容して、矯正教育を行う施設です。

湖南学院の目標は、心身ともに健康な人づくりです。

今後は、「長期教科教育課程・長期生活訓練」の二つの処遇過程の教育にも取り組んでいかれます。



▲ 第62回「社会を明るくする運動」ポスター

射水保護司会 定期総会開催

平成二十四年度射水保護司会定期総会が四月二十三日(月)、射水市小杉福祉会館において開催されました。

開会宣言のあと、物故者への黙祷、保護司信条の朗唱と続き、米澤会長あいさつがありました。

米澤会長は、射水更生保護サポートセンター(射水市役所大門庁舎)開設予定の報告と、駐在員など協力の依頼、更生のための「社会貢献活動」への新たな協力先の開拓と協力を呼びかけました。

続いて、富山保護観察所富山孝明所長があいさつの中で次のようにお話されました。

犯罪や非行を犯した人が更生するためには、地域において普通の人間関係を結べるようになることが第一です。また、再犯を防ぐためにも、排除ではなく「理解・協力」へと、地域社会の係わり方も変化していく必要があります。

今年度から、射水市に設置される予定の「更生保護サポートセンター」を、地域における保護司会活動の拠点として、また地域に保護観察制度への理解と拡大をはかる場となることを期待しています。

次に、稲垣和成福祉保健部次長が夏野市長の代理としてあいさつ文を読み

上げ、最後に射水警察署中島稔署長があいさつの中で市内の犯罪現況にふれ、射水保護司会・関連団体と協力し合って、犯罪や非行を防ぎ犯罪が起きにくい社会の構築をめざしましょうとお話されました。

来賓の祝辞及び紹介後、議長に坂井敏政保護司を選び議事に入りました。全てを承認し、総会は滞りなく無事終了しました。

射水市更生保護女性会

定期総会開催

四月二十七日、射水市新湊交流会館において、平成二十四年度射水市更生保護女性会定期総会が開催されました。開会の言葉、次いで会員で綱領を唱和しました。

来賓祝辞及び紹介がありました。議長選出、議事、と総会は滞りなく進行し、道古正子新会長のもと新役員による活動がスタートしました。

総会終了後、「少子化の取り組み」と題し射水市子育て情報局の市政出前講座がありました。

私たち更生保護女性会が、なぜ「子育て支援」を重視するのか、また市の子育て支援事業への理解を深める良い機会となりました。



「ひまわりの譜」に魅せられて

射水市更生保護女性会

会長 道古 正子



更生保護女性会について何も分からない私でしたが、皆様のご指導をいただきながら携わってまいりました。その私が図らずも新中会長の後を受け、会長に就任いたしました。責任の重さを痛感しています。

今、ひまわりの花が見事に咲いています。それを見るたびに「ひまわりの譜」に出会った頃を思い出します。その時抱いた「なんて素敵な譜なんだろう。私もこの譜のように人々に接していきたい。」という思いが、私の更生保護活動の基となりました。その後、この譜は心の安らぎのメロディーとなり、悲しい時や辛い時、私を助けてくれました。

この譜から学んだ、更生保護に対する姿勢や人を愛する気持ちを忘れることなく、いつも笑顔を保ちながら日々の活動に全力を尽くす所存でございます。今後、更生保護女性会の伝統の行事を継承しつつ、また、刻々と変化する社会の要請にも対応できる「しなやかな更生保護女性会」を目指して活動していくためには、活動資金の捻出や他団体との主体性ある連携のあり方などが課題であると思っています。

そのためには、保護司の方々や地域の人々、保護観察所、それに行政にも進んで関わり、更生保護女性会にできることは何かを考え、行動に移していくことが大事だと思います。



▲ 新中前会長開会のあいさつ

『更生保護サポートセンター射水』

八月二十三日(水) 開所式典

射水における保護司会活動の拠点として、また地域に保護観察制度への理解拡大を図る場として。

住所：射水市二〇〇八一番地

射水市役所大門庁舎 車庫棟二階

電話：〇七六六(五二)七六九六

FAX：〇七六六(五二)七六九七

● 事務局この一年 ●

新年度がスタートし、恒例の事業に加えて、更生保護サポーターセンターの開設、社会貢献活動の実施場所の開拓など新たな活動の準備にも追われています。

4月3日	第1回理事会
7日	定期総会資料作り
15日	第1回研修部会会議
23日	平成24年度定期総会
24日	射水保護司会新二役就任挨拶廻り
27日	定期駐在
27日	平成24年度射水市更生保護女性会定期総会
27日	第31回中学生生活体験発表大会事前打合せ
5月24日	第31回中学生生活体験発表大会
6月7日	富山県保護司会連合会理事会
28日	梅崎二江保護司褒章受章報告
12日	県保連地域活動部会協議会
12日	射水市更生保護協力会
18日	赤い羽根共同募金助成決定書交付式
19日	保護司会事務担当者協議会
27日	「第62回社会を明るくする運動」射水市推進会議
7月2日	法務大臣・知事メッセージ

● 伝達 ●

7日	第50回富山県中学生生活体験発表大会
8日	6・26ヤング街頭キャンペーン
16日	第62回社会を明るくする運動 富山県シンポジウム
16日	「第62回社会を明るくする運動」街頭宣伝活動
8月22日	「更生保護サポーターセンター射水」開所式

● 部会だより ●

◇ 研修部会

7月3日の「公開研修会」は、御苦労様でした。沢山の皆様に御参加を賜り感謝申し上げます。

更生保護制度が大きく変わろうとしている現在、私達はしっかりと情報を掴み今後の活動に生かして行かねばなりません。皆さんの御意見にしっかりと耳を傾けて研修事業を進めて行きます。今後とも御指導をお願い申し上げます。

◇ 広報部会

◇ 地域活動部会

10月23日 視察研修（湖南学院）
11月27日 定例研修会・自主研修会
2月5日 定例研修会・自主研修会
8月末日「射水市更生保護」13号発行
7月16日、海王丸パークでの街宣活動にご協力ありがとうございました。

社会貢献活動の実施場所を開拓中です。

6月25日	社会貢献活動体験
7月4日	社会貢献活動
7月6日	打合せ新港の森（島崎所長）七美（ことぶき苑）（網施設長）

◇ 学校部会

5月21日大門中学校で、射水市中学生生活体験発表大会を開催しました。発表大会にご理解、ご協力を頂いた中学校をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げます。

6月6日	市内全小・中学校対象に作文、標語、ポスター（図画）募集
7月31日	8月1日 作品回収
8月7日	作文の部審査
8日	図画・標語の部審査
10月	発表会と表彰式

なお、総務部会・協力組織部会からの活動だよりは、次号でお知らせします。

● 春の褒章・叙勲 ●

春の褒章・叙勲
ご受章おめでとうございます。

更生保護功勞	藍綬褒章
梅崎 一江	保護司
地方自治功勞	旭日小綬章
山本 修	名誉保護司

保護司会
ホームページ

射水保護司会ホームページを公開中です。
射水保護司会の成り立ち、各部会の活動内容、今後の活動のお知らせ、広報「射水市更生保護」創刊号からのバックナンバーなどを掲載しています。



<http://imizu-hogoshikai.sub.jp/>

編集後記

「更生保護サポーター射水」が八月二十二日開設されました。情報発信や関係団体・地域の皆様とより一層の連携を深める集いの場になるように、次号で詳しいことをお伝えしたいと思います。

ベテラン広報部長からバトンを受け取り、未熟ながら何とか第13号をお届けすることができました。ご寄稿いただいた皆様に、深く感謝申し上げます。ご指導、ご感想をお聞かせ願えれば幸いです。

林 記